

令和7年度 第4回新潟北警察署協議会議事概要

開催日時	令和8年2月20日（金）午後2時00分から午後2時55分まで		
開催場所	新潟北警察署講堂		
出席者	委員 (定数7人)	高橋会長 小池副会長 江戸委員 佐藤委員 南委員 渡邊委員 (副会長以下50音順)	計6人
	警察	麩澤署長 高澤副署長 坂口警務課長 寺崎生活安全課長 新保地域課長 齊藤刑事課長 木村交通指導係長 渡邊警備課長 森谷会計課長	計9人

管内の治安情勢

署長から、令和7年中の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

署長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 地域の安全・安心確保のための取組推進

(1) 安心感を高めるための街頭活動の推進

ア 大学入学共通テストに合わせて、駅の利用者に対する盗撮・痴漢防止広報を行った。

イ 管内にある各小学校の登下校時間帯に合わせて、通学路における犯罪や交通事故防止を目的とした警戒活動を行った。

ウ 「110番の日」に合わせて、管内の小学校において110番通報の適正利用と、不審者に遭遇した時の対処要領に関する寸劇を交えた防犯教室を行った。

(2) 特殊詐欺等の犯罪被害防止対策の推進

ア 管内にある金融機関の職員に対して、特殊詐欺の被害が疑われる来客対応要領と、警察への通報要領に関する防犯指導を行った。

イ 関係機関と連携し、公共施設などで国際電話利用休止申込ブースを設置して申込みの促進活動を行った。

ウ 管内で発生したオレオレ詐欺未遂事件につき、県外在住の少年被疑者を検挙し、被害を未然防止した。

2 交通事故防止対策の取組推進

- (1) 管内にある大学内のネットワークを活用し、交通安全意識の向上と交通事故防止を目的とした交通安全講話を実施した。
- (2) 交通事故防止のため「安全管理で 無事故無違反の 二刀流」の横断幕を署前に掲出した。
- (3) 関係機関の協力を得て、公共施設に設置されたデジタルサイネージに冬道の安全走行に関する広報を掲出した。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 地域の安全・安心確保のための取組推進

- (1) 犯罪被害防止対策の推進
- (2) 安心感を高めるための街頭活動の推進

2 交通事故防止対策の推進

- (1) 春の全国交通安全運動、自転車安全月間における各種事故防止対策の推進
- (2) 高齢者の関与する交通事故防止対策の推進

答申

新潟北警察署協議会として協議・検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

意見・要望・質疑等（○は署長等の説明）

- 1 新々バイパス競馬場インターチェンジ付近の交通事故が多いように感じるが、実態と対策について伺う。
○ バイパス上では、特定のインターチェンジに限らず一定数の事故が発生しているのが実態です。また、競馬場インターチェンジ付近は、バイパスへの流入地点であることから、事故の有無に関わらず渋滞が発生しやすくなっています。
今後も交通機動隊と連携した活動を展開するなど、事故防止に努めていきたいと考えています。
- 2 少年補導数が増加しているとのことであるが、単独による行為が多いのか、グループによる行為が多いのか。また、補導に際して学校には連絡しているのか。
○ どちらかの行為が多いという、特徴的な傾向は出ていません。
少年を補導した際は、確実に学校と情報を共有するとともに、少年の保護者に対しても自ら学校に連絡するよう指導をしています。

速度等取締り指針の策定

交通指導係長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

その他 ～ 警察署協議会の開催状況写真 ～

1 警察署協議会の開催状況写真

